

BEIJING REPORT! No.2

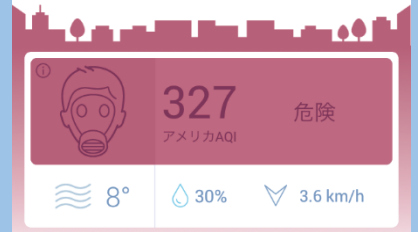
～生活編～

在中華人民共和国日本国大使館附属北京日本人学校 入川琢仁



北京といえば…「空気が心配」?

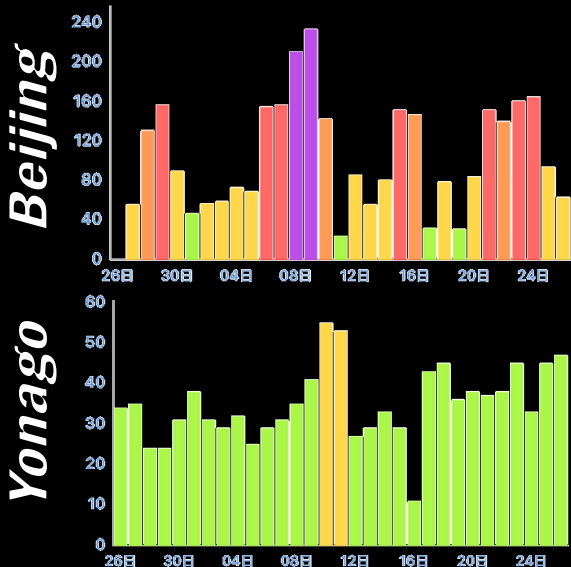
北京といえば何をイメージしますか? 多くの人が口をそろえて言うのが大気汚染。実際はどうなのでしょう。左の写真は私が北京に赴任して半年ほどたったときむせ返すほど大気が悪化したときの様子。視界は50mほど先もぼやけ、昼間でしたが薄暗い感じがしました。



このときの大気質指数は「327」。この大気質指数とは何でしょうか?

毎日空気が悪いの?

実は上の写真のような大気はほとんどまれです。そこで、2019年11月26日からの1か月の大気質指数を鳥取県米子市と北京で比較してみましょう。



◆200を超えたのは9日間。17日間は鳥取県と同等レベルの100以下でした。

◆米子市の大気は常に60以下。とても汚染度の低い状態です。

大気質指数って?

大気汚染の程度を0から500の指数で示す指標。北京日本人学校では151を超えた際は屋外へ出る時は全員マスク着用、201以上で原則屋外での活動は中止となります。

大気質指数	健康懸念レベル
0~50	良い
51~100	普通
101~150	敏感な人の健康に良くない
151~200	健康に良くない
201~300	きわめて健康に良くない
301~500	危険

学校ではこの指数を各階に設置されたモニターで確認することができます。またスマートフォンでもタイムリーに確認でき、体育の活動を屋外で行うか、体育館で行うかなど判断します。校内には空気清浄機がたくさん設置されており安全に生活することができます。

中国は便利なスマホ社会



日本でもここ数年で電子決済が広まりつつありますが、中国では既に様々なスマホによるサービスが広まった社会。路上の小さな野菜市場ですら電子決済。スマホがないと生活できないといくらい。便利な反面、スマホの電池が切れると困ってしまうこともあります。



出前・宅配サービス



映画などのチケット購入



シェアリングバイク



タクシーを呼ぶ

あれこれスマホでも便利!

北京の… 春夏秋冬



春、学校の玄関には桜が綺麗に咲き乱れます。



夏、運動会練習は肌を刺すような暑さとの戦い。



秋、通勤時のバス停は黄金色の銀杏が綺麗です。



冬、家の近くの川は凍り、アイスホッケー場に！

北京ダックだけじゃない！

北京グルメ



職人の技が詰まった「醬」



「餅」も「もち」の水餃子。食って美味しい。

この漢字 どんなカンジ？

中国では、漢字に囲まれた生活になります。日本語と同じ表記のものもあれば、違うものはその漢字の意味と音からどんな感じのものか推測します。例えば、「麦当劳」はどんな感じ？ヒントは「まいだんらお」と読みます。答えは「マクドナルド」！続いて「サリア」は？？ヒントは「さりや」と読みます。答えは、「サイゼリヤ」！

それでは、右の写真の「星巴克」は何のお店でしょうか？



圧倒的なスケール！ 万里の長城

中国観光において一番と言ってもいいくらい有名な観光スポット。総延長約 6000 キロの城壁は人類史上最大の建築物で、英語では“The Great Wall”と呼ばれています。観光地として整備されている場所が何か所かある他、この写真のように自然のままの長城も残っています。



まるで遺跡探検！

